

データサイエンス共同利用基盤施設
平成 28 年度 第 1 回運営会議 議事要旨

日 時：平成 28 年 7 月 7 日（木）15:30-17:30

場 所：情報・システム研究機構 国立情報学研究所 12 階 1208 会議室

出席者：北川機構長（閉会挨拶）、藤井戦略企画本部長

（内部委員）藤山委員、小原委員、門倉委員、吉野委員、北本委員、
野口委員、中野委員、野水委員

（外部委員）諏訪委員、高橋委員、照井委員、町田委員、矢嶋委員

陪席者：後藤事務局長、塩原事務局次長、田原 URAS マネージャー、川俣 URAS チーフ、
昨間 URAS チーフ、竹ノ内 URAS 特任専門員、木村 URAS 事務補佐員

議 事：

議事の前に、藤井戦略企画本部長の挨拶ならびに各委員の自己紹介があった。

また、議事終了後に北川機構長より挨拶があった。

1. 副議長選任

町田委員が副議長として選任された。

2. データサイエンス共同利用基盤施設及び各種関連規程について

野水委員より、資料 1－1 に基づき説明があり、次に田原 URAS マネージャーより、
資料 1－2 に基づき説明があった。

3. 各センターの紹介（準備室を含み、各 10 分程度×6 センター）

各センター長・準備室長・プロジェクト代表より、資料 2－1～2－6 に基づき説明があった。

4. 審議事項（人事案件）

藤山委員より、資料 3－1 に基づき説明があり、社会データ構造化センターに採用済の人事案件 1 件について、当運営会議に先立って戦略企画会議で審議を行い、了承された旨報告があった。

続いて、資料 3－2 に基づき説明があり、ライフサイエンス統合データベースセンターで公募中の人事案件 1 件について、今後の審議機関としてデータサイエンス共同利用基盤施設人事委員会を設置する旨了承された。

続いて、資料 3－3～3－5 に基づき説明があり、社会データ構造化センターに採用予定の 3 件、データサイエンス推進室に採用予定の 1 件について、審議のうえ、了

承された。なお、データサイエンス推進室について今後も体制を強化していきたい旨説明があった。

5. 外部資金課題に関するエフォート整理及び間接経費の取扱いについて

藤山委員より、資料4-1～4-2に基づき説明があり、いずれも原案どおり了承された。

6. その他

・次回の運営会議について

次回の運営会議については、セミクロードのワークショップと併せて開催することと了承された。開催日時は平成28年9月後半を目途として別途調整することとした。

資料

- 1-1 データサイエンス共同利用基盤施設説明図
- 1-2 関連規程
- 2-1～2-6 センター等紹介資料
- 3-1 人事案件（報告）
- 3-2 人事案件（人事委員会の設置について（DBCLS））
- 3-3 審議対象者リスト
- 3-4 人事案件（社会データ構造化センター）
- 3-5 人事案件（データサイエンス推進室）
- 4-1 外部資金課題に関するエフォートの整理（案）
- 4-2 間接経費及び一般管理費の取扱いについて（案）
- 5 次回開催について

【別紙】

(参考) 閉会時の各外部委員からのコメント：

- 理系だけではなく人文科学系を含めた組織として、どこまでの範囲の研究者を支援するのか、今後に注目したい。
- 民間が持っているビッグデータに研究者が直接アクセスすることは難しいため、このような組織が間に入ってくるとよい。
- 産学で集まって技術開発等の検討をする場として、期待をしている。
- 研究所とは別組織のため、それぞれの研究所が持っていたものにさらに横串を通せるということなので、施設内の横の協力に期待。
- 「分野を超えた知識移転・汎化、異分野交流・新分野創成を実現」とは、実現がゴールなのか、実現に向けた研究を実施していることがゴールなのか。前者であれば、例えば異分野間のデータ形式等について現場レベルの話し合いを行うなど、かなりハイペースで進める必要がある。
- 各分野では、様々なデータがあり、解析ソフトも苦勞して開発されているようなので、有効な解析ソフトがあれば次回にでもお聞かせ願いたい。